

# 衆議院法務委員会ニュース

平成 30.11.21 第 197 回国会第 5 号

11 月 21 日（水）、第 5 回の委員会が開かれました。

## 1 出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律案（内閣提出第 1 号）

- ・山下法務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・山下法務大臣、高階厚生労働副大臣、関経済産業副大臣、門山法務大臣政務官、高野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・参考人から意見を聴取することに決しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 藤原崇君（自民）

- ・失踪技能実習生に対する聞き取り調査を取りまとめた「失踪技能実習生の現状」の誤りはいつどのような経緯で生じたのか、法務省に伺いたい。
- ・治安の悪化やコミュニティーの分断、社会保障の負担増などの外国人材の受入れに対する国民の懸念について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・特定技能 1 号の受入れ見込み人数は、日本の総人口に占める在留外国人の割合や在留外国人の年間の増加人数に対して、どのような影響があるか、法務省に伺いたい。

### 浜地雅一君（公明）

- ・特定技能 1 号外国人が得られるであろう賃金水準を推定するために、外国人建設就労者受入事業における外国人就労者と建設分野における技能実習生のそれぞれの平均賃金額を国土交通省に伺いたい。
- ・施行後 1 年が経過した技能実習法の具体的な効果及び平成 29 年と平成 30 年上半期の実習生の失踪割合を法務省に伺いたい。
- ・特定技能外国人の雇用形態は直接雇用を原則とすべきと考えるが、農業分野においては派遣労働を認めてほしいという要望もあることから、国家戦略特別区域農業支援外国人受入事業では派遣労働による受入れとしている理由やその必要性について農林水産大臣政務官に伺いたい。

### 山尾志桜里君（立憲）

- ・特定技能 1 号外国人の受入れ見込み数のうち、技能実習 2 号修了者が占める割合について、法務省に伺いたい。
- ・訂正された「失踪技能実習生の現状」において、失踪の原因として記載されている「低賃金（契約賃金以下）」、「低賃金（最低賃金以下）」は、受入れ側の不適正な取扱いによるものであるにもかかわらず、「より高い賃金を求めて失踪」と表現しているため、実習生側に問題がある

かのような印象を与えていると考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

- ・「実習実施者等から失踪した技能実習生に係る聴取票」の失踪動機の欄には、労働法令違反や人権侵害行為がうかがえる記載が多く見受けられるにもかかわらず、受入れ側の問題に言及しない答弁が続いてきたことに対して、法務大臣の見解を伺いたい。

### 逢坂誠二君（立憲）

- ・特定技能 1 号として受入れが見込まれる外国人の半数以上が技能実習 2 号修了者であることから、本法案と技能実習制度とは密接不可分の関係にあると考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・外国人の受入れに当たっては、入国管理政策と多文化共生政策が必要であることから、多文化共生政策を法律上、明確に位置付けるべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・特定技能 1 号の技能水準を確認する試験を海外で適正に実施する方策について、どのように考えているのか、法務省に伺いたい。
- ・外国人を受け入れることとなる地方自治体の意見を聞き、各自治体の現状を把握した上で、財源の確保が必要であるとするが、法務大臣の見解を伺いたい。

### 松田功君（立憲）

- ・人手不足への対応として、賃金を上げることで、潜在的な働き手に実際に働いてもらう取組を進めていくことが必要であるとするが、法務省の見解を伺いたい。
- ・特定技能 1 号外国人の待遇の確保を担保するため、雇用する企業への指導はどのような仕組みで行われるのか、法務省に伺いたい。
- ・内閣府から法務省に日系定住外国人の施策が移管され、出入国在留管理庁もできる中で、今後、法務省が行う外

国人の受入れ環境の整備に関する企画及び立案並びに総合調整について、法務省の説明を伺いたい。

### 源馬謙太郎君（国民）

- ・「実習実施者等から失踪した技能実習生に係る聴取票」の月額給与及び労働時間の記載から最低賃金以下であると推測されるにもかかわらず、失踪の原因が「低賃金」とされていないものもあることから、同聴取票を取りまとめた「失踪技能実習生の現状」は信頼性に欠けると考えるが、法務省の見解を伺いたい。
- ・生産性の向上や国内人材の確保のための取組を行ってもなお人手が足りない分野に外国人労働者を受け入れると、当該分野の就労者は外国人のみになってしまうことが懸念されるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・特定技能1号外国人の受入れ見込み数は、各業所管省庁が出してきた数をそのまま取りまとめるのではなく、法務省において精査すべきと考えるが、法務省の見解を伺いたい。

### 階猛君（国民）

- ・昨年11月の技能実習法の施行による技能実習3号の新設後の1年間で、技能実習2号から技能実習3号に移行した人数と2号修了者全体に占めるその割合を法務大臣に伺いたい。
- ・経済産業省が業所管官庁である3業種の特定技能1号外国人の受入れ見込み数では、技能実習修了者の7割～8割が特定技能1号に移行して我が国に在留し続けることを前提とし、技能実習制度の趣旨を踏まえれば、これらの業種における受入れ見込み数を見直すべきと考えるが、経済産業副大臣の見解を伺いたい。
- ・介護分野の特定技能1号外国人の受入れ見込み数における5年間の国内人材の確保数として、直近で年間6万人程度増員している現状を下回ると想定することは、国内人材の確保のための取組を最大限行うことにならないと考えるが、厚生労働副大臣の見解を伺いたい。

### 山井和則君（国民）

- ・劣悪な処遇で働くことを強いられている技能実習生の実態を把握するため、直接会って話を聞くべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・労働法令違反や人権侵害行為を原因として技能実習生が失踪している現状を知らしめるため、「実習実施者等から失踪した技能実習生に係る聴取票」を公表すべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・5年目までの累計の特定技能1号外国人の受入れ見込み数34万人は上限として運用されるのか、法務大臣に確認したい。

### 串田誠一君（維新）

- ・平成27年以降、国会において18回も技能実習生の失踪に関する質疑がなされ、失踪の動機として、「より高い賃金を求めて」との評価を基に答弁され続けたが、聴取票をありのままに集計したものを基に対応していれば、今のような失踪者数にはなっていなかったのではないかと考えるが、法務省の見解を伺いたい。
- ・失踪した動機として、最低賃金以下と回答している技能実習生に対して、その雇用主が何も咎められずにいるとなると、技能実習生が特定技能1号に移行後も同じ職場において低賃金で働く可能性もあることから、結果的に日本人の労働条件の悪化につながりかねないと思うが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・特定技能1号は「相当程度の知識又は経験を必要とする技能」を要する業務に従事することとされているが、農業及び漁業において、単純作業と特定技能1号に必要とされる技能に係る作業をどのように区別するのか、農林水産省にそれぞれ伺いたい。

### 黒岩宇洋君（無会）

- ・技能実習生に対する人権侵害事案が発生していることを踏まえ、法務省内に設置された技能実習制度の運用状況を検証するプロジェクトチームのメンバーに人権擁護局の担当者を含めるべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・自民党法務部会における本法案に対する決議について、法案成立後の基本方針及び分野別運用方針の策定に党が関与することに疑問があるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・失踪技能実習生に対する聞き取り調査について、調査方法のマニュアルがなければ、均一なデータを取ることは不可能と考えるが、法務省の見解を伺いたい。

### 藤野保史君（共産）

- ・「失踪技能実習生の現状」について、実習生側よりも、受入れ側による人権侵害行為や労働法令違反などの不適切な取扱いを主な失踪原因として最初に掲げるべきであると思うが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・平成26年3月25日付「技能実習生の失踪に係る調査について（通知）」に基づき、監理団体、実習実施者から技能実習生の失踪の原因、経緯等を入国審査部門において聴取し、その結果が、平成27年8月以降の法務大臣の技能実習生の失踪動機に関する答弁の根拠となっているにもかかわらず、当該結果を取りまとめてもない現状について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・「失踪技能実習生の現状」における失踪動機として、「低

賃金（最低賃金以下）」にチェックしていた人数が22人となっているのは少なすぎて、実態を示していないと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。